



自分や大切な家族、そして地域のために医療について学びませんか？ 地域医療サポーター制度のご紹介

飯塚病院では、“病気の予防”と“医療機関との上手な付き合い方”の2つのテーマについてお伝えする「地域医療サポーター養成講座」を奇数月に1度開催しています。

“病気の予防”は生涯健康の第一歩

がんや心筋梗塞、脳梗塞など誰もが気になるさまざまな病気。実は自覚症状がほぼ無い場合や早期発見が難しいこともめずらしくありません。だからこそ、普段から予防に努めることが大切です。

この講座では、飯塚病院の医師が毎回1つの病気を取り上げて、予防法や治療法をお伝えしています。

医療機関との上手な付き合い方とは？

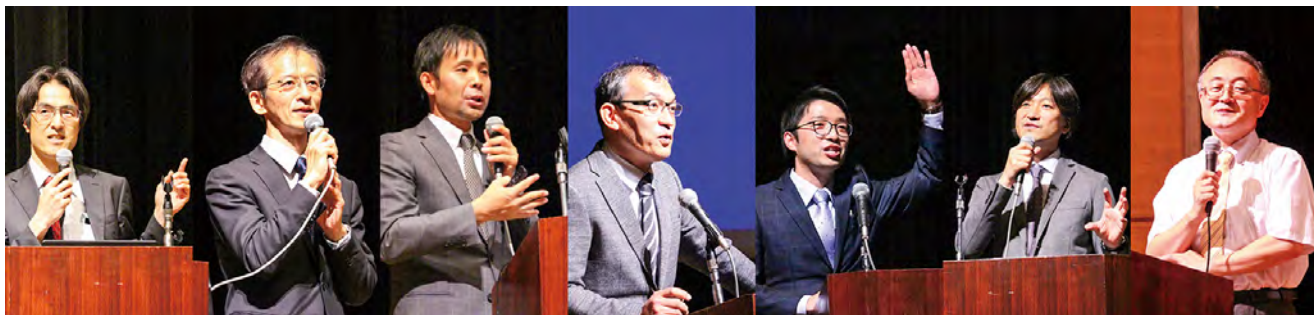
たとえば正しい救急車の利用法やかかりつけ医の見つけ方などについて、みなさんをご存知ですか？

これらの知識は、いざという時のために、普段から身に付けておきたいもの。

医療機関と上手に付き合うことは、限りある医療資源を守ることにもなります。そして私たちが住む筑豊地域がこれからも安心して医療を受けられる地域であり続けることに繋がっていきます。

「地域医療サポーター養成講座」ではこの視点に基づいた2つのテーマについてお伝えしています。

これまでに計44回の養成講座を開催し、延べ約10,000人の方々に受講いただいています。



地域医療サポーター制度について

この講座に参加して学ぶことに加えて、自ら行動してその知識や情報を周囲の人たちに伝えてくださる方を「地域医療サポーター」として認定する制度です。

認定にはステップがあり、“レギュラー・ゴールド・プラチナ”の計3段階です。

また、レギュラー以上の方を対象に、地域医療が抱える課題や問題点について医療スタッフと直接ディスカッションしあう場、『サポーターズミーティング』も年2回開催しています。

2010年から制度を開始し、現在では約1,000人のサポーターが誕生しています（2018年5月現在）。

『医療について知りたいけど、周りにその知識を広められるか自信がない』という方も、もちろん構いません。まずはお気軽に「地域医療サポーター養成講座」へご参加ください！